

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	【ネパール中西部における妊産婦・新生児の健康状態の改善】 医療サービスを提供する環境の向上及び住民の健康に対する意識が改善され、妊産婦・新生児の健康状態が改善される。
(2) 事業内容	(イ) お産センターの建設、機材・設備の提供、ソーラー電気及び冷蔵庫の提供 カリコット郡内の業者を活用することを考慮しつつ、建設業者からの入札を実施。5棟の建設に対して79件の入札があり、5業者を選定した。それらの業者との契約締結に及んだ際、入札を受注できなかった業者が3月下旬から4月にかけて事業スタッフに対する恐喝行為を繰り返したため、状況が安定しスタッフの安全が確保できるまで、業者との契約締結を見合わせた。このため、契約締結に至ったのは業者の選定から1ヶ月が経った5月に入ってからとなった。 7月末現在、5ヶ所のお産センター建設VDCのうち、最も作業が進んでいるVDCでは整地・レイアウト作業・建物の土台部分の建設と鉄筋組み・外壁となる石の積み上げ、木製の窓枠の設置まで完了している。また2ヶ所のVDCでは土台部分の建設と鉄筋組みまで作業が進んでいる。残り2ヶ所のVDCにおいては整地とレイアウト作業を終えているが、雨期が例年より早かったために鉄筋などの建設資材の搬入作業が間に合わず、建設サイト周辺の川や山から資材となる石や砂などの収集を行なっている段階である。 いずれのサイトも、雨期の早期到来により建設作業に支障が生じていることや、雨量が多いことでスルケット郡からカリコット郡まで続くカルナリ道路が土砂崩れを起こしていることに加え、上記の建設業者からの妨害工作の影響もあって、当初の計画よりも遅れが出ている。 (ロ) 公共保健機関のキャパシティビルディング 郡リプロダクティブヘルスケア委員会へのリーダーシップ研修を7月10日から13日の日程で行なった。この研修において、参加者からカリコット郡の母子保健環境を改善するための4つのアクションプランが提示された。 事業開始当初、この研修は5月初旬に実施予定であったが、上記の建設業者からの妨害により一切の活動を控えたために予定していた日程では実施できず、郡保健局との同意のもとで6月初旬に日程を変更した。しかし、ネパール会計年度が7月中旬に終了することを受け、研修受講者である政府スタッフが6月中は多忙を極め、彼らの参加が難しいとの訴えがあったため、さらに一ヶ月半、実施時期を遅らせた。 (ハ) 望まない妊娠のリスク軽減・出産介助スキル向上 出産介助者研修を6月10日から8月8日にかけて、ダンガリ国立研修センターにて行なった。受講者は11名であった。受講者の内訳は、

お産センター建設 VDC にある簡易保健所に勤務する研修受講条件を満たす医療従事者、及び近隣 VDC の簡易保健所に勤務する出産介助者であり、いずれもカリコット郡保健事務所により選出された。

また、インプラント（避妊具）研修を 8 月 18 日から 27 日にかけて行なった。お産センターを建設している VDC の簡易保健所で働く医療従事者のうち、カリコット郡保健事務所により選考された 5 名が受講し、インプラント着脱に必要な技能を習得した。研修はネパールガンジ国立研修センターで行われた。

（二）青少年に対する健康教育・啓発

4 月 11 日、12 日の 2 日間にわたり、ネパールガンジにおいて青少年に対する健康教育・啓発（ARSH）研修を、郡保健事務所スタッフに対して行なった。本事業に従事する ADRA スタッフもこの研修を受講したが、これはカリコット郡内にて今後実施していく同研修において、本事業スタッフが講師として研修を担当するためである。

上記研修を受けた ADRA スタッフが、5 月 24 日にカリコット郡リプロダクティブヘルス委員会のスタッフに対して同研修を実施した。次に、この研修を受講したカリコット郡リプロダクティブヘルス委員会のスタッフが講師となり、6 月 4 日から 7 日にかけて郡内の 14 ヶ所の VDC の医療施設のスタッフを対象に同研修を行なった。この研修には計 42 名が参加した。続いて、この 14 ヶ所の VDC に設置されている医療施設マネジメント委員会のメンバー、女性地域保健ボランティア、及び村の高等学校の教師に対しても、同様の研修を実施した。8 月末現在、14VDC において 413 名が研修を修了している。

（ホ）マスカンペーン

青少年に健康教育・啓発を行うため、お産センターを建設している VDC の簡易保健所においてリプロダクティブヘルスコーナーの設置準備を進めている。簡易保健所に来た人が自由にパンフレットや資料を閲覧できるようにするためのテーブルや本棚などの設置を予定しており、それぞれの簡易保健所の現状を確認したうえで提供する物資を決定する。8 月末現在、既存の物品を確認している段階である。

(3) 達成された効果	本事業で出産介助研修を受けた出産介助者は、全員が VDC によって直接雇用されている。直接雇用されている人材は、基本的には長期にわたって所属する VDC にて活動するため、そうした人材を対象に技能研修を行なうことで、事業地において医療サービスを提供できる環境が整いつつあると考えられる。 郡リプロダクティブヘルス委員会を対象にしたリーダーシップ研修においては、これまでは同委員会に医療分野の見識がないメンバーがいたことや、郡内に居住しておらず実質的には活動に参加していないメンバーがいたといった問題について、メンバー自身が再認識することができた。併せて、メンバーが同委員会の意義や役割について学んだことも後押しとなり、委員会メンバーの再編成が行なわれた。同委員会の活動は、従来は年に一度のミーティングの実施に留まり、かつ具体的な施策はほとんど打ち出してこなかったが、研修実施後は本事業でお産センターを建設している VDC に現在の出産介助者の他にもう 1 名追加で出産介助者を置くことを決定するなど、活動が活性化している。8 月末現在、5VDC のうち 1VDC においては既に追加の出産介助者が配置されており、残り 4 つの VDC でもお産センター完成までには配置される予定である。 ASRH 研修については、14VDC の保健医療施設マネジメント委員会、女性地域保健ボランティア、村の学校教師（計 413 名）を対象に行なったことで、各 VDC 内で若年結婚・出産や短期間での多出産に関するリスクに関する説明、及び望まない妊娠を防ぐためのアドバイスを的確に行える人材を増やすことができた。この研修により、母子の健康のためには若年出産を避けなければならないという認識と、通常の出産に加え逆子などの難しい出産の際には本事業で建設するお産センターで出産に臨むべきであるという認識が、研修を実施した VDC 内で醸成されつつある。 また、ASRH 研修には「保健マネジメント情報システム」という項目があり、これは各村の出産件数、出産事前健診の受診件数、薬の配付状況などのデータを集積し、郡保健事務所へ月次報告をするものである。現在、ASRH 研修を受けた簡易保健所スタッフがこのシステムの運用に伴い各簡易保健所の医療関連の数値の収集を始めている。これにより、カリコット郡保健事務所が各 VDC の簡易保健所からの情報を集約できるようになった。今後、郡保健事務所から各 VDC に対し保健医療に関する数値の改善のための助言が適宜行われ、それを元に各 VDC 簡易保健所が活動できるようになることが期待されている。
--------------------	--

(3) 今後の見通し	・ お産センター建設については当初のスケジュールを見直すとともに人員も増加し、作業スピードを上げる体制を整えていくが、一ヶ月程度の事業延長は避けられない見通しである。 ・ お産センターに設置する備品及びソーラーの調達については予定通りの進捗であり、期日内に完了する見込みである。 ・ 保健医療施設マネジメント委員会を対象としたリーダーシップ研修については、9 月第 2 週から第 3 週までに、対象の 5VDC にて実施する予定である。この研修においては、郡リプロダクティブヘルス委員会リーダーシップ研修を受講した郡保健事務所のスタッフを指導的役割として充てる。 ・ ラジオ放送については、8 月末現在、放送する内容の最終調整を行っており、9 月中旬から放送予定である。
-------------------	---